

令和7年11月1日から令和8年1月30日まで開催した鶴居村「彩り」フォトコンテスト2025は、一般部門、ジュニア部門、合計600点を越える、多数のご応募がありました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

素晴らしい作品の中から選ばれた入賞作品の一部を紹介します。全入賞作品については、特設サイトにて公開しております。右記のQRコードよりご覧ください。

特設サイト



「フガフガ」

優秀賞

稲富 六熊さん(大阪府)

【ジュニア部門】



「静と動」

最優秀賞

佐々木 新太さん(北海道)

静かな左のタンチョウと雪しぶきが舞うほど激しく動いている右のタンチョウ。2羽が対照的に撮れた瞬間でした。



「みんなで仲良くお食事中」

優秀賞

佐々木 美月さん(北海道)



「朝日を纏って」

優秀賞

中宮 弘太郎さん(北海道)

一般部門【総合の部】



「共棲」

最優秀賞

魚田 克彦さん(北海道)

昨年来各地で熊との遭遇が話題になっていますが、昨年は鶴居村でもこれまで見たことがなかったヒグマに日中2回遭遇しました。この作品はその時に写したのですが、野生生物の異種共棲とともに、人との共棲への問題を深く考えさせられる場面でした。



「心通うひととき」

安藤誠賞

村田 祐介さん(北海道)



「茜色に染まる」

和田正宏賞

井部 祐子さん(北海道)

【タンチョウの部】



「あなたの故郷、私のふるさと」

最優秀賞

柳沢 啓介さん(千葉県)

タンチョウの故郷、鶴居村。そして、少年期を過ごした私のふるさと、北海道。雪原に立つたび、自然とともにある時間を思い出します。

【自然風景の部】



「春のおくりもの」

中島 三佳さん(兵庫県)

鶴居村滞在中に桜が満開に。その日はちょうど自分の誕生日でもあり、穏やかな青空の下、牧草地に一本桜、雪の残る山々に芽吹き始めた木々の織りなす彩りは、春を迎えた大自然からの誕生日プレゼントに思えました。

【村の暮らしの部】



「運動広場の宇宙」

内海 大輔さん(北海道)

鶴居村運動広場の夜。月明かりのないこの日は、入口にあるおしゃれなカフェの上に見事な天の川を見ることができました。

【タンチョウの部】



「優美なデュエットダンス」

塩瀬 努さん(東京都)

【自然風景の部】



「玄太の木(真冬の帰り道)」

佐藤 吉人さん(北海道)

【村の暮らしの部】



「耕す朝とタンチョウ」

武井 博喜さん(北海道)



「気嵐に舞う」

長谷川 洋一さん(北海道)



「霧に包まれた音羽橋」

森井 章三さん(北海道)



「わんシーン」

平川 みほさん(北海道)